

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

2007 年度事業報告書

期間:2007 年 7 月 1 日～2008 年 6 月 30 日

今年度もドラマティックなせんだい・みやぎ NPO センターでした！

2007 年 7 月 仙台市シニア活動支援センターオープン！

2007 年 11 月 当センター10 周年記念事業実施！

そして、

2008 年 6 月 多賀城市市民活動サポートセンターオープン！

大きな仕事が次々と訪れ、多くの皆様のご支援とご協力のもと、
取り組んだ事業の報告をギュッと凝縮してお届けいたします。



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

● 目次 ●

I. 2007年度事業の成果と総括	2
II. 自主事業	
10周年記念事業	8
サポート資源提供システム&みんなファンド	9
情報化推進事業	10
政策提言活動	11
NPO経営相談	12
センダードサロン	13
書籍販売部「みんな堂」	14
ニュースレターみんなリニューアル&ロゴマークの変更	15
III. 協働事業	
環境保全協働コーディネーター養成講座	16
みやぎの公益活動ポータルサイトみんな/NPO情報ライブラリー	17
東北地区NPO支援センター連絡会とパートナーシップ制度	18
都道府県・全国主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査	19
CSR調査/CSRセミナー/CSR推進相談所	20
子どものためのNPOとの協働事業	21
せんだいCARES 2007	23
アダプト・プログラムシンポジウムin仙台	24
コミュニティ自立支援研究会参加他	25
Microsoft NPO Day	26
NPO推進機関との連携	27
IV. 委託事業	
仙台市市民活動サポートセンター管理・運営（指定管理）	28
仙台市シニア活動支援センター管理・運営	30
多賀城市市民活動サポートセンター管理・運営	32
名取市市民活動支援センター業務	33
まち美化に関する市民活動のための支援事業業務	34
クリーン仙台推進員平成19年度グループ学習会運営業務	35
V. 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力	36
VI. 講師派遣・研修受け入れ等	36
VII. センター運営に関する事項	37
VIII. 2007年度収支報告	42
IX. 資料 新聞記事/河北新報夕刊・NPO情報室	46

I．2007年度の成果と総括

はじめに

昨年11月1日に設立満10年を迎えた当センターは、まさに激動の1年を過ごすこととなった。仙台市市民活動サポートセンターは、指定管理者として2期目を迎え、さらに仙台市シニア活動支援センターと多賀城市市民活動サポートセンターという新たな施設管理を2つも受託し、その運営をスタートすることとなった。もちろん、これまで行なってきた本体としての事業も同時進行で実施するため、有給スタッフは一時35名を数えた。また、インターンや研修生ものべ4名となった。

このような状況の中で、NPOを取り巻く環境の大きな変化としては、2008年12月1日から新公益法人制度が施行される。また、今年はNPO法人制度が10年目を迎える節目の年でもある。ワーキングプアー、格差社会といったキーワードが人口に膾炙し、さらなる社会のひずみが増大し、私たちNPOが取り組むべき問題が増えてきている。また、6月に起きた岩手・宮城内陸地震では、わたしたちの組織が、地域のNPOや自治体、企業とともになにができるかをしっかり見据える必要性を実感させられた。

そこで2007年度は、これまでの10年間取り組んできた、NPO支援の成果とそのしくみの検証を、調査とワークショップにより実施、時代にあった情報発信の見直しと提案を日本財団CANPANとの連携で実現するなど、確かな実りを得ることができた。また、児童館プロジェクトや仙台市市民活動サポートセンターの出前サポセン、シニア活動サポートセンターの専門相談といった他団体との連携の機会も今年度は多かった。

2007年度の基本方針について、その成果と総括は、以下の通りである。

1. せんだい・みやぎNPOセンター10周年記念事業を成功させる ★★★★★
2. 指定管理者第2期目の仙台市市民活動サポートセンターと
新規事業であるシニア活動支援センターとの有機的な事業展開 ★★★★★
3. NPOの情報開示・発信力の向上のために、
日本財団CANPANと提携し、NPO情報ライブラリーの機能を強化。
「みやぎの公益活動ポータルサイトみんな」の開設 ★★★★★
4. サポート資源提供システムとみんなファンドの安定的な運用と
プログラムの改良や寄付者の開拓への積極的なアプローチ ★★
5. 企業セクターとの協働の推進 ★★★★★
6. 10周年を契機に、次の時代に対応する組織基盤強化に取り組み、
次世代育成を図る ★★★

1. せんだい・みやぎNPOセンター10周年記念事業を成功させる ★★★★★

日本財団の助成金申請時に予定していた通り、地域のNPOや各地の支援センターとの協力と協働のもと10周年記念事業を実施することができた。内容としても、この10年の総括と今後の展望を内外に示すことができた。なかでも、関西・関東地域の支援センターへのヒアリング調査は生の現場の意見をダイレクトに交換することができ、当センターにとっての組織体制を見直すヒントとなった。また、そこで得たデータをもとに実施したワークショップの実施により、これからのNPO支援の課題を浮かび上がらせることができた。その成果は、記念シンポジウムでも紹介され、「地域におけるNPO支援10年の総括と展望」としてまとめ、全国の支援組織・支援施設に配布することができた。記念イベントの告知が遅れた点と冊子の完成が大幅に遅れた点は、反省すべきことである。

2. 指定管理者第2期目の仙台市市民活動サポートセンターと新規事業であるシニア活動支援センターとの有機的な事業展開 ★★★★★

毎年、新しい事業に取り組み続けてきた当センターは、今年度も、仙台市シニア活動支援センターという事業を新規事業として受託した。これは、市民活動サポートセンターで培ったノウハウをいかし、さらに本事業に関する関係機関との連携を積極的にはかり、初年度にしては利用者満足度の高い成果を上げることができた。また、市民活動サポートセンターも指定管理者第2期目ということもあり、こちらも新規事業の提案も多く果敢に挑戦する事業展開となった。また、3月には多賀城市の多賀城市民活動サポートセンターの公募に、これまでの経験を生かしてチャレンジすることを決め、4月には受託が決定、5月より準備に入り6月1日オープンという強行スケジュールを見事にやり遂げることができた。さらには、名取市市民活動支援センターの土曜日の相談員派遣と連続セミナーと交流会事業および運営の相談に関わる委託を本年度も継続して受注、仙台との連携により効果的なセミナーの開催

や相談業務の実施を行っている。

また、住友生命社会福祉事業団からの受託事業として行なった、児童館プロジェクトでは、NPOが指定管理する2つの児童館と他の約15のNPOおよび企業の協力をえて、プログラムの提供とコーディネートを行い、新たな組織連携による成果をあげた。

3．NPOの情報開示・発信力の向上のために、 日本財団CANPANと提携し、NPO情報ライブラ リーの機能を強化。「地域公益ポータルサイトみんな ん」の開設 ★★★★★

以前より、先駆的に地域のNPOの情報公開を進めてきた当センターは、今年度日本財団CANPANとの提携により、「地域公益ポータルサイトみんなん」を開設することとなった。開設準備期間中には、無料のブログ講座の開催やライブラリー登録団体への訪問・説明を行ない、本システムのみならず当センターとNPOとの距離を縮め、NPOの情報開示と発信の当センターの支援体制についての理解を得ることができた。今後の課題としては、ライブラリー登録団体のブログによる情報発信理解と能力の向上、市民や企業・団体に求められている情報を整理して、ポータルのコンテンツとして掲載していくことがある。

また、平行して、NPOの情報開示ワークショップを開催し、宮城県内14の自治体の協働環境調査を進め、その成果をセミナーで発信するなど、情報開示に関わる事業を積極的に展開した。

4．サポート資源提供システムとみんなんファンドの安定的な運用とプログラムの改良や寄付者の開拓への積極的なアプローチ ★★

例年通り、みやぎNPO夢ファンド(宮城県)、ろうきん地域貢献ファンド(東北労金宮城県本部)、ふくふくファンド(労働者福祉協議会)の3つの冠ファンドとみんなんファンド(本体ファンド)で、それぞれ助成金の公募を行い、総額698.2万円の助成を行った。その中で、夢ファンドに関しては、審査が厳密なためか助成金が

大幅に繰り越されるという現象が起きており、申請件数の減少対策と質の向上、運用委員とのコミュニケーションなどに課題を残している。また、宮城県情報産業サービス協会との協働で行っているリユース PC の提供も、7 台の提供をおこなった。物品提供はなかった。

また、今年度から力を入れている新たな取組みとしては、ファンド募集の際に実施した相談会がある。内容は、ファンドの内容についての説明だけに留まらず、申請書の書き方や組織運営に関するアドバイスなども行なうこととなった。また、助成金を得た団体へのアドバイスやコンサルティングも一部実施した。一方で、新たな寄付者へのアプローチはほとんど行なうことができなかった。

5. 企業セクターとの協働の推進 ★★★★★

サポート資源提供システムとみんなのファンドの運営委員会、せんだいCARE Sキャンペーン実行委員会といった、これまで地域の企業・団体との協働を推進してきたところに加えて、今年度は新たに[CSR]をテーマとした取組みを多数実施した。なかでも、地域の大学生を募集して行なった大手上場企業のCSRレポート調査や8月に行なったCSRセミナーは、わたしたちにとってCSRへの関心を身近なものとして捉えることを可能にした。その後、セミナー参加者を対象に「CSR evening」を開催し、メーリングリストによる情報交換や勉強会を開催。2008年5月には「CSR推進相談所」を開設した。その結果、企業からの相談が増えつつある。ほかにも、2月には、社団法人食品容器環境美化協会の主催の「アダプトプログラムシンポジウム in 仙台」を受託・実施した。

6. 10周年を契機に、次の時代に対応する組織基盤強化に取り組み、次世代育成を図る ★★★

10周年記念イベント、仙台市市民活動サポートセンターの指定管理者2期目スタート、シニア活動サポートセンターと多賀城市市民活動サポートセンターの運営・管理、さらに「地域公益ポ-

タルサイトみんな」の開設など、目いっぱい仕事を動かすため、人事に関しては大きな変動と紆余曲折があり、その結果まさに多様な組織への参加のしくみを構築することとなった。また、研修生やインターンといった形でも、学生や社会人が参加する機会が増えた。さらに、管理職を対象としたスキルアップのための研修も新たに定期的に実施を始めた。また新年度より、スタッフの中から、NPO への短期インターンシップを行い、学びとネットワークづくりに資する仕組みも実施の予定である。しかし、会員制度見直しに関しては、今年度も取り組むことができなかった。

7. その他の成果

財団法人東北開発研究センターの自主研究事業「コミュニティ自立研究会」に、加藤代表理事・山田理事が参加し、コミュニティ支援・コミュニティ政策支援といった取組みも行ない、3 冊目にあたる『コミュニティの支援戦略』(株)ぎょうせいを上梓した。

他に県内では、丸森町の人材育成事業、名取市市民活動支援センターの講座事業、多賀城市のコミュニティ活動支援、塩釜市の市民活動支援、東松島市のコミュニティ組織支援、岩沼市の協働の懇談会などの事業を受託した。

また、みやぎ生協との連携により、生協のグループ活動から NPO への発展を支援する枠組みを用意し、その活動の発展のために取り組んでいくという合意がなされ、連続セミナー講師派遣を行った結果、継続的な相談や助成金申請が続き、今後の新しい団体立ち上げ支援の展開に大きく弾みがつくこととなった。

決算においては、ようやく若干の資金の余裕ができたが、全体の財政規模から言うと、まだまだ内部留保不足の状態であることは言うまでもなく、今後の課題である。

II. 自主事業

事業名	10周年記念事業		
主催／委託者	せんだい・みやぎNPOセンター（コンサート共催:ソキウスせんだい）		
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター		
目的	当センター設立10周年を記念して、この10年間の地域におけるNPO支援の検証と、記念イベントの実施、記念誌を制作することで、当センターとNPO支援のこれからの10年の足がかりをつかむ。		
成果	1、関東・関西圏のNPO支援組織8団体のヒアリングでは、共通の課題を確認することが出来た。 2、その結果、「NPO支援・10年の総括と展望」ワークショップで目指すべき方向性が見えた。 3、コンサートや記念講演など、10周年を記念したイベントが好評のうちに終了した。 4、みんな座談会でこの10年の仙台・宮城の市民活動を5つのテーマで検証した。 5、さまざまなNPOや支援者の協力を得て、2冊の記念誌・2本の記念酒が完成した。		
実施概要	1、調査・ヒアリング 2007年7月～8月、関東・関西圏の8団体（奈良NPOセンター、大阪NPOセンター、宝塚NPOセンター、きょうとNPOセンター、おおた市民活動推進機構、東京ボランティア・市民活動センター、さいたまNPOセンター、市民活動情報センター・ハズオン！ 埼玉）の調査・ヒアリングを実施。 2、「NPO支援・10年の総括と展望」ワークショップ 11月1日・2日にかけてコーディネーターにIIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表川北秀人氏を招き、7名のキーパーソンをパネリストによる報告とワークショップを実施。 3、コンサート・記念式典・記念講演・パネルディスカッション・まち歩きイベント（県北版・仙台市内版） 11月1日の夜は、「谷川俊太郎＋谷川賢作コンサート」を同じく設立10周年を迎えたソキウスせんだいとの共催により実施。翌日2日は記念式典の後、東京工業大学大学院准教授・上田紀行氏をお招きし、「目覚めよ日本！がんばれNPO！」と題し記念講演を実施。翌日は、一ノ蔵、蕪栗ぬまっこくらの協力を得て、県北方面のNPOの活動を知るバスツアーを実施。また、仙台市内では都市デザインワークスの協力によりまち歩きツアーを実施した。 4、みんな座談会 福祉、子ども、人権、次世代、コミュニティの5つのテーマで仙台・宮城で活躍されている市民活動団体の方にお集まりいただき、この10年の仙台・宮城における市民活動の歴史を振り返った。 5、10周年記念誌の発行（10周年記念酒付き） 1～4の取り組みを編集し、さらに2007年9月の総会で、「日本のNPOの10年をふりかえるーNPOは公共サービスを担えるか」と題した、市民フォーラム21・NPOセンター理事・名古屋大学教授の後房雄氏の記念講演を掲載。「NPOサポート・10年の奇跡」「地域におけるNPO支援10年の総括と展望」を発行。記念酒として、「みんな（題字：詩人・当センター会員 谷川俊太郎氏）」「協働（題字：元仙台市長 藤井黎氏）」も作成した。また記念誌は、全国のNPO支援施設・機関に提供した。 なお、本事業の一部は日本財団からの助成金により実施された。		
			
	谷川俊太郎＋谷川賢作コンサート	仙台市内まち歩きツアー	

事業名	サポート資源提供システム＆みんなみんファンド																				
委託者	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																				
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																				
目的	サポート資源提供システムとは、地域のNPO・NGO/市民活動団体、ボランティア団体など（以下、NPO）が必要とする様々な経営資源（物品、パソコン、資金、人材、ボランティア、ノウハウなど）を、企業、各種団体、市民など社会一般から集め、それをNPOに仲介・提供することで、NPOを支援し、地域を元気にする仕組み。また、資金提供を通じて、企業とNPOの新しい関係を作り、地域社会への参加を促進することも目的の一つである。このような企業とNPOとのパートナーシップ形成によって、企業活動にとってもNPOの活動にとっても大きなメリットを生み出していくことを目指している。																				
成果	今期（2007.4.1～2008.3.31）は「サポート資源提供システム」の本格運用6年目、その資金提供プログラム「地域貢献サポートファンドみんなみん（みんなみんファンド）」の運用5年目となる。 前年度と同様、オフィス什器・備品や事務用品といった「物品等提供」、中古パソコンや周辺機器を提供する「パソコン等提供」、そして「資金提供＝みんなみんファンド」の3プログラムで資源提供が行われた。年間の実績としては表1に示す通り、のべ83団体に約760.7万円相当の支援を実施することができた。なお2001年9月のシステム運用当初からの支援総額の累積は5213.3万円となった。 また、助成金申請の事前相談会を開催し、多数の団体との関係を深めることができたことは今期の大きな成果である。																				
実施概要	○サポート資源提供システム http://www.minmin.org/sss/ ・みんなみんファンド http://www.minmin.org/sss/minmin/ ・ろうきん地域貢献ファンド http://www.minmin.org/sss/rokin/ ・みやぎNPO夢ファンド http://www.minmin.org/sss/yume/ ・ふくふくファンド http://www.minmin.org/sss/2008/06/04_1910.php ●NPO情報ライブラリー http://minmin.CANPAN.info/dantai_list.html ○サポート資源提供システム 2007年度 資源提供実施 <table><tr><td></td><td>提供先団体数 (のべ数)</td><td>提供点数</td><td>金額換算価値 (*)</td></tr><tr><td>物品等提供</td><td>45団体</td><td>225点</td><td>45万円</td></tr><tr><td>パソコン等提供</td><td>7団体</td><td>7点</td><td>17.5万円</td></tr><tr><td>資金提供 ＝みんなみんファンド</td><td>31団体</td><td>－</td><td>698.2万円</td></tr><tr><td>計</td><td>83団体</td><td>－</td><td>760.7万円</td></tr></table> (*) 物品・パソコンは一般の中古市場価格にて換算 ■ライブラリー登録との関係で、上記数値には反映していないが、児童館プロジェクトの中で、仙台市通町児童館主催の食育プログラム「スローフードな通町～ぱくぱくプロジェクト～＜第4回 新米の食べ比べをしましょう＞」が行われ、特定非営利活動法人環境保全米ネットワークに、「食育」活動に賛同する日立製作所東北支社から、新米の食べ比べ用に、電気炊飯ジャー10台が寄贈されました。 ●助成金の申請相談会を積極的に行った。みやぎNPO夢ファンドは、2008年3月3日「ステップアップ支援プログラム」相談会で6団体、3月27日、28日、4月1日、2日の4日間で20団体、計26団体の相談に対応した。		提供先団体数 (のべ数)	提供点数	金額換算価値 (*)	物品等提供	45団体	225点	45万円	パソコン等提供	7団体	7点	17.5万円	資金提供 ＝みんなみんファンド	31団体	－	698.2万円	計	83団体	－	760.7万円
	提供先団体数 (のべ数)	提供点数	金額換算価値 (*)																		
物品等提供	45団体	225点	45万円																		
パソコン等提供	7団体	7点	17.5万円																		
資金提供 ＝みんなみんファンド	31団体	－	698.2万円																		
計	83団体	－	760.7万円																		

事業名	情報化推進事業																																							
主催／委託者	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																																							
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター																																							
目的	せんだい・みやぎNPOセンターの活動を幅広く社会に発信する。 センターの情報化を進め、情報発信力の向上を目指す。																																							
成果	2007年7月にホームページのリニューアルを行った。大きな変更点はCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を導入したことである。それによりコンテンツの系統的管理・デザインの一元的管理が可能となり、更新や修正作業がしやすくなった。また、統一的なデザインとなり、見やすさの向上にもつながった。 トップページの1日あたりの平均アクセス数は126.2で、サーバー変更に伴うアクセス解析システムの変更から単純な比較はできないが、前年の1日あたり93.8件よりはアクセスが増加したものと見込まれる。 サーバーの変更も2007年7月に行い、サーバーの安定性とデータのバックアップ態勢が強化された。																																							
実施概要	各月のホームページへのアクセス数は以下のとおりである（「サイト全体」と「トップページ」はそれぞれ別のアクセス解析システムにより数値を出している。2007年7月は移行期間のためデータがない）。 サーバーの移転によりアクセス解析システムが変わったため、2006年度以前の数値との単純な比較はできないが、全体的に見ると、講座などのイベント情報、職員募集、ファンドの募集などの情報掲載があったときにアクセス数が増加する傾向があった。 センター関連の記事で32件、サポート資源提供システムで44件、理事コラムで4件の更新を行った。また、トップページからセンターの公式ブログ、理事ブログ、みんなファンド事務局ブログにもリンクし、これらのブログからもタイムリーな情報発信が行われた。（センターブログは、1年間約7000件、一ヶ月あたり650件程度のアクセス） ホームページアクセス数（2007年度） <table><tr><td></td><td>サイト全体</td><td>トップページ</td></tr><tr><td>2007年8月</td><td>30175</td><td>4227</td></tr><tr><td>2007年9月</td><td>25856</td><td>3833</td></tr><tr><td>2007年10月</td><td>25823</td><td>3720</td></tr><tr><td>2007年11月</td><td>25550</td><td>3269</td></tr><tr><td>2007年12月</td><td>29246</td><td>2806</td></tr><tr><td>2008年1月</td><td>33946</td><td>3633</td></tr><tr><td>2008年2月</td><td>30354</td><td>4015</td></tr><tr><td>2008年3月</td><td>31117</td><td>3601</td></tr><tr><td>2008年4月</td><td>39718</td><td>4149</td></tr><tr><td>2008年5月</td><td>43302</td><td>3789</td></tr><tr><td>2008年6月</td><td>40855</td><td>5227</td></tr><tr><td>合計</td><td>355942</td><td>42269</td></tr></table>		サイト全体	トップページ	2007年8月	30175	4227	2007年9月	25856	3833	2007年10月	25823	3720	2007年11月	25550	3269	2007年12月	29246	2806	2008年1月	33946	3633	2008年2月	30354	4015	2008年3月	31117	3601	2008年4月	39718	4149	2008年5月	43302	3789	2008年6月	40855	5227	合計	355942	42269
	サイト全体	トップページ																																						
2007年8月	30175	4227																																						
2007年9月	25856	3833																																						
2007年10月	25823	3720																																						
2007年11月	25550	3269																																						
2007年12月	29246	2806																																						
2008年1月	33946	3633																																						
2008年2月	30354	4015																																						
2008年3月	31117	3601																																						
2008年4月	39718	4149																																						
2008年5月	43302	3789																																						
2008年6月	40855	5227																																						
合計	355942	42269																																						

事業名	政策提言活動
主催／委託者	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
目的	NPOによる政策提言活動の強化のために、当センターは、調査研究、宮城県議会との意見交換会の開催、NPO向け政策提言力向上セミナーの開催、「NPOが社会を変えられない5つの理由」の出版などを行ってきた。今年度は、1月からインターン生の担当事業として、県議会との意見交換会の再開とNPO側の政策研究会の立ち上げに取り組むことにした。
成果	2008年1月から6月にかけて、インターン生(藤井公博さん／東北大学公共政策大学院)により、地方議会改革に関わる文献調査を行い、7月になってHPに掲載した。また、6月末に、宮城県議会とNPOの意見交換会の再開第一回を開催し、多数の議員の参加を得た。
実施概要	調査:文献調査により、「地方議会改革調査報告書」(19p)を作成、HPに掲載して広く公開した。 http://www.minmin.org/info/2008/08/01_1141.php 県議会議員との意見交換会:2008年6月25日(水)13:00～16:30 ■プログラム概略 1. 日時:2008年6月25日(水) 13:00～16:30 2. 目的:NPOが地方議会や議員を知り、議員がNPOを知ること、今後の両者の関係づくりにつなげる。 3. プログラム内容: ・議会概要についての説明 ・本会議の傍聴 ・議員との意見交換会 http://www.minmin.org/info/2008/06/18_1424.php 今後の方針: テーマを選んで、NPOが今提起したい課題についての研究会を開催し、政策提言につなぐ。 期間としては、2008年8月～12月(予定)



事業名	NPO経営相談
主催	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	NPO・市民活動団体の運営上の課題解決をめざす。
成果	今年度も加藤代表理事が、多様な経営相談に対応した。会計、資金調達、起業など、個別性の高い相談に対する窓口として重要なサービスであり、有効活用されている。また継続的な相談につながっている団体もあり、個別コンサルティングの必要性が認知されつつあるのではないか。みんなファンドにもコンサルティング付助成を取り入れたり、それぞれのファンドの応募前の相談会の開催を通じて、かなりの団体と詳しい活動上の課題についてヒアリングすることができた。今後の展開に活かしたい。
実施概要	○アドバイザー：加藤哲夫（代表理事） ○相談料：会員 2,000円、非会員 2,500円 ○実施状況 合計 17件：30名（NPO 14 / 個人 2 / 行政 1） ・7/20（金） 1件2名 （NPO 1） ・8/20（月） 1件1名 （個人 1） ・9/11（火） 2件2名 （NPO 2） ・10/18（木） 2件4名 （NPO 1 / 個人 1） ・11/14（水） 1件2名 （NPO 1） ・12/19（水） 1件2名 （NPO 1） ・1/25（金） 1件2名 （NPO 1） ・2/20（水） 3件6名 （NPO 3） ・3/19（水） 2件3名 （NPO 1 / 行政 1） ・4/18（金） 1件2名 （NPO 1） ・5/16（金） 1件2名 （NPO 1） ・6/19（木） 1件2名 （NPO 1）

事業名	セダードサロン
主催／委託者	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	NPOの活動上の課題の一つである「ネットワークの形成」に加え、個々のNPOが抱えている組織運営上の課題解決のため、交流を通じてともに考える場を創出する。
成果	少人数ながら、各回のテーマに沿った、深い話し合いと情報交換を行うことができた。交流会をセットにすることで、ネットワーク形成でも成果が上がったと考える。
実施概要	2007年7月～2008年5月までで5回の開催。 ※2007年7月～12月までは、10周年記念事業の開催のため、実施できなかった。 ○1月のセダードサロン「新春大新年会」 開催日：1月15日（水） 参加者：15名 ○2月のセダードサロン「NPO役員の本音トーク」 開催日：2月15日（金） 参加者：9名 ○3月のセダードサロン「晶子があなたの会議を健康診断」 開催日：3月14日（金） 参加者：10名 ○4月のセダードサロン「NPOの新人職員大集合」 開催日：4月18日（金） 参加者：9名 ○5月のセダードサロン「災害とNPO」 開催日：5月16日（金） 参加者：10名 ※2008年6月は、多賀城市市民活動サポートセンターの開所準備のため、実施できなかった。



事業名	書籍販売部「みんな堂」
主催／委託者	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	NPO・市民活動に関心のある方が、関連資料を入手しやすいように、図書の販売を行い、NPOに関する専門的な情報を多くの人々が入手しやすいものにすること。
実施概要	センターで直販を行っているほかに、講師派遣時に出張販売に力を入れ、同時にホームページに「書籍申込フォーム」を掲載し、FAX・メールでの注文も受けている。結果、2007年度は、1,680,164円の販売を行った。 ○取扱書籍 46種 内訳 ・センター関連書籍 14種 ・運営・マネジメント関連書籍 9種 ・NPO基礎関連書籍 6種 ・報告書関連書籍 5種 ・その他書籍 12種 ■今年度、当センターが発行した書籍 ・協働の強化書 ・設立10周年記念誌 NPOサポート・10年の軌跡 ・設立10周年記念誌 地域におけるNPO支援10年の総括と展望 

事業名	ニュースレターみんな＆ロゴマークのリニューアル
主催／委託者	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	10周年に向けて発行していたニュースレターの特集が終了したことに伴い、新たな会員向けのニュースレターを発行。代表理事・常務理事が巻頭で各セクターからゲストを向かって対談を行なうなど、読ませるニュースレターを目指す。また、10周年を機にロゴマークを一新し、活力あるイメージ展開を図る。
成果	「みんな」の題字を会員の谷川俊太郎さんに書いていただき、インパクトのある表紙が誕生した。また、当センターが取り組んでいる事業や各地の支援センター情報も紹介できるようになり、少ない紙面で読み応えのある内容となった。新しいロゴマークを使い、勤務先ごとにバラバラだった名刺もリニューアルした。
実施概要	■ 配布対象：会員・評議員・サポート資源提供システム関係者、県内外NPO支援施設 ■ 発行部数：700部 ■ 内容：全8ページ ・理事対談 ・せんだい・みやぎNPOセンターの事業から ・ちょっとかじってみよう！CSR ・寄稿 全国の支援センターから ・理事リレーコラム ・活動ダイアリー ・ランチLive”パスタでも、おにぎりでも“ ・新規会員・継続会員紹介 お知らせ ■ 編集体制 ・編集長：内川奈津子 編集スタッフ：紅邑晶子 三井克 ・デザイン・レイアウト 氏家朗（外注） Vol.54 2007年10月31日発行 第9回通常総会報告 Vol.55 2008年1月1日発行 10周年記念講演「目覚めよ日本！頑張れNPO！」報告 Vol.56 2008年3月1日発行 理事対談 大滝精一代表理事 & イートス株式会社代表取締役増子良一さん Vol.57 2008年5月1日発行 理事対談 黒澤学常務理事 & 東北大学大学院経済学研究科西出優子さん ■ ロゴマークリニューアル ・スタッフアンケート実施 12月 ・ロゴ制作 1月～3月 ・ロゴ完成 4月 ・看板・名刺制作 5月



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター



minmin

III. 協働事業

事業名	環境保全協働コーディネーター養成講座	
主催／委託者	(独) 環境再生保全機構 地球環境基金	
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	持続可能な社会の形成と環境保全を効果的に実践していくためには、各主体間のパートナーシップが欠かせず、協働の取り組みを促進していくためにも、協働コーディネーター的存在の重要性が高まっている。しかし、現状では、協働の関する知識や経験、理論についての混乱が各主体にある。このような現状を踏まえ、NPO、行政、支援センターのそれぞれにおいて、参加者が協働の基礎の理論を踏まえた上で、協働のコーディネートができるように導くことを目的とする。	
成果	1. 多様な主体の参加があり、グループ討議においても学びとの機会と交流の場となった。 2. テキストとして「協働の強化書」を使用することで、講座後の団体での取り組みに励みとなった。 3. 企業人の参加があり、NPOとの協働を推進したいという企業があることが参加者にも示せて、今後の連携の可能性が広がった。 4. ワークショップ(参加型)なので、参加者の質問にも十分に答えられ、深い学びの場をつくることができた。	
実施概要	■講座内容 開催日時:2007年7月28日－29日 28日10:30～17:00 29日10:00～16:00 参加人数:21人 参加費:2000円 会場:山形市総合福祉センター会議研修室2 ゲスト:3名 特定非営利活動法人パートナーシップオフィス 佐藤丈晴氏 特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこらぶ 戸島潤氏 山形県文化環境部 安孫子義浩氏 講師:加藤哲夫 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 ファシリテーター:遠藤智栄 同センター プロジェクトディレクター ■講座の構成 ・協働の歴史(市民参加や協働に関する理論の確認) ・協働の仕組み(行政・市民・NPO・企業)と協働コーディネーターの役割(ファシリテーション、企画、提案、交渉、説明、合意、協力、協働組織、実施、評価、継続など) ・ファシリテーション手法(講座の進行の中でファシリテーションの手法を示しながら進める) ・地域と国内外の協働の事例から学ぶ(合意形成、プロジェクト企画、実施、評価など) ・NPO・行政・企業のネットワークとパートナーシップの構築 ■実施体制 主催:独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 企画・実施:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 協力:特定非営利活動法人環境ネットやまがた 特定非営利活動法人山形創造NPOネットワーク 特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会	

事業名	みやぎの公益活動ポータルサイトみんな/NPO情報ライブラリー ブログセミナー
主催／委託者	せんだい・みやぎNPOセンター/協力:日本財団CANPAN / IIOHOE
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター
目的	せんだい・みやぎNPOセンターのHPのリニューアル(2007年7月)に伴い、市民向け、企業・団体向けの情報提供サイトを構築・充実し、NPOのリアリティある活動情報を発信し、NPO情報ライブラリーによって信用向上を図り、寄付者・支援者の開拓に結び付けていくことと、地元企業・団体のCSRの取り組みを支援することを目的として開発した。
成果	日本財団の公益コミュニティサイトCANPANおよびIIOHOEの協力によって、2008年6月に「みやぎの公益活動ポータルサイトみんな(愛称みんなポータル)」を開設し、順調に発信機能の拡充と情報の発信に努めている。
実施概要	☐みやぎの公益活動ポータルサイトみんなの開発 日本財団のCANPANの協力により、地域や活動テーマごとに展開される「地域・テーマ公益ポータルサイト」のひとつであり、主に宮城県内のNPO情報を柱とする公益情報に関してコンテンツを構成する。今後、全国的に同様のサイトが構築される予定であるが、「みんなポータル」はその先行モデル事業と位置付けられており、システム開発の段階から参画している。 コンテンツの大きなものは、以下の通りである。 ■NPO情報ライブラリー NPO情報ライブラリーは、せんだい・みやぎNPOセンターが展開する「サポート資源提供システム」の一部として運用されており、かつ、NPOの情報公開・開示を推進する重要なサービスであり、NPOの社会的信頼を創造するための非常に重要な仕組みでもある。 これまで、せんだい・みやぎNPOセンターの独立したサービスメニューとして、せんだい・みやぎNPOセンターの事務局にあるDBのみによって運用されてきたが、「みんなポータル」の開設に伴い、CANPANの団体情報DBへ主な情報を「移転」し、全国的な団体情報DBと共通化して運用される。 ■県内NPOブログ更新情報 「NPO情報ライブラリーに登録」し、かつ、「CANPANブログを使って書いている団体ブログ」が対象となるサービス。新しい日記をUPするたびに、その更新情報がこのスペースの最上段に自動で表示されるようになる。 ブログは、NPOの情報ツールとして非常に大きな成果を上げつつあり、せんだい・みやぎNPOセンターとしてもブログ講座を実施して利用の促進を図っている。 ■全国および地域企業のCSR情報 今注目されている全国企業と地域企業のCSR情報を収集、発信し、地域企業のソーシャル化支援を行い、NPOと企業の連携による地域づくりと地域産業支援に結びつける。 ☐CANPANブログセミナー開催 日本財団CANPANの協力により、2008年4月27日、29日、5月1日の3日間、無料のブログセミナーを開催し、ライブラリー登録団体に、ブログを開設いただくことで、ポータルサイトのトップ画面に自動的に配信されるしくみとの連動で、団体の情報発信支援をめざした。実際、岩手宮城内陸地震の際には、ブログセミナー受講の結果制作されたくりこま自然学校の佐々木代表のブログが大きな役割を果たしたことは記憶に新しい。



事業名	東北地区NPO支援センター連絡会議と パートナーシップ制度	
主催／委託者	東北労働金庫 本部・各県本部	
企画・実施	東北労働金庫本部＋せんだい・みやぎNPOセンター ＋東北の支援センター	
目的	東北ろうきんは東北地区全体を対象にCSRを推進するためパートナーシップ制度を手始めに取り組んでいくが、そのためには東北6県の支援センターとの協働による事業実施体制が必要であり、当センターとして協力・推進していくことで、東北6県の支援センターのつながりを深め、東北労金のCSRの取り組みが前進することを目的とする。	
成果	2007年3月に初回の東北地区NPO支援センター連絡会議を開催、6月から協議をスタート、9-10月にボランティアセミナーを実施、10-12月と活動参加。2008年3月に活動報告会を仙台で開催した。2008年度事業も継続中。	
実施概要	2007年3月2日－2日 東北地区NPO支援センター連絡会議開催 場所：東北ろうきん本部 会議室 内容：東北ろうきんより説明 青森と岩手のNPOファンドとNPOバンクについて 2007年6月1日－2日 2007年度第1回東北地区NPO支援センター連絡会議開催 場所：東北ろうきん会議室 内容：ろうきんパートナーシップ制度の概要説明 参加団体紹介 協働環境調査説明会 NPOの情報開示セミナー 以上の準備期間を経て、各県本部と各県のNPO支援センターは連携して、ボランティア希望者をマッチングする「事前セミナー」を、9から10月にかけて一斉に開催した。 宮城県では、10月9日(火)18:00～20:00に、市民活動サポートセンター6階セミナーホールにて開催。参加者18名。東北6県全体では、セミナー参加者102人、ボランティア参加申込者11名であった。 ■準備、および進捗確認、報告会と連絡会の開催 ・2007年8月24日(金)-25日(土) 2007年度 第2回東北地区NPO支援センター連絡会議開催 ・2007年10月12日(金)-13日(土) 2007年度 第3回東北地区NPO支援センター連絡会議開催 13日はNPO支援財団研究会主催シンポジウムにも連動 ・2008年3月7日(金) 2007年度 第4回東北地区NPO支援センター連絡会議開催 報告会＆シンポジウム開催 今後に向けた課題、 2007年度は、取り組みの初年度ということもあり、準備不足の感は否めなかった。 2008年度は、そうそうに準備作業を開始し、より大きな成果を得られるように努めたい。 2008年6月13日(金) 2008年度 第1回東北地区NPO支援センター連絡会議開催	

事業名	都道府県・全国主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査	
主催／委託者	人と組織と地球のための国際研究所＋せんだい・みやぎNPOセンター	
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター＋いしのまきNPOセンター＋杜の伝言板ゆるる他	
目的	都道府県・全国主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査を行っている。2004年度、2005年度調査に続き、1年間をおいての第3回の調査である。今回は、東北の他の5県の調査は、各県の支援センターにお願いし、当センターは、宮城県および県内13の市を対象とする調査を行っている。自治体の協働環境の評価を通して、取り組みを促すことが主目的である。	
成果	2007年11月末に、全国の33の支援センターとの協力により調査報告書が完成した。宮城県では、県と13の市についてすべての回答を得て調査結果をまとめることができた。この調査報告書を使つての報告会などで活用を図り、全県的な協働推進の動きにつなげていくことができた。	
実施概要	2007年6月2日－3日の東北ろうきん主催の東北地区NPO支援センター連絡会議にて、協働環境調査の説明と各県での取り組み依頼を行った。 結果、青森、秋田、岩手、山形、福島は、各県の支援センターがそれぞれ調査を行うこととなった。 当センターは、宮城県および県内13市を対象に調査を行った。 いしのまきNPOセンターおよび杜の伝言板ゆるる、そしてボランティア数人の協力を得て調査を行った。 調査の進展にあわせて、ワークショップや報告会を企画、啓発にも力を入れた。 ■協働環境調査自己採点ワークショップ 開催日時：2007年 7月10日（火曜）13:00 ～ 17:00 会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール（仙台市青葉区一番町） 主催：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 共催：IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 協力：日本財団 CANPAN ■協働環境調査報告会in仙台 ー協働の「いま」から「あした」をつくるためにー 日 時：2007年12月12日（水）13:30 ～ 17:00 場 所：仙台市市民活動センター セミナーホール（仙台市青葉区一番町） 主 催：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター 共 催：IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所） 協 力：日本財団 ■調査は、「第3回都道府県、主要都市におけるNPOとの協働環境に関する調査報告書」として、IIHOEより11月末に発行された。 ■本調査の中の、「指定管理者制度の導入・運用と市民の参画状況について」の調査を取り出し、 2008年6月25日の宮城県議会とNPOとの意見交換会において、宮城県内の指定管理者制度の導入・運用における市民参画についての意見書を提出した。	

事業名	CSR調査/CSRセミナー/CSR推進相談所		
主催／委託者	せんだい・みやぎNPOセンター（共催：ハリウコミュニケーションズ株式会社、協力：日本財団公益コミュニティサイトCANPAN、ダイバーシティ研究所、サポート資源提供システム運用委員会）		
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター		
目的	1、地元の大学生の協力を得て、上場企業のCSRレポートの調査を行う。 2、地元企業3社をCANPAN・CSR大賞にエントリーするためのヒアリングと企業とNPO向けセミナーを実施し、CSRへの関心を促す。 3、地元企業のCSRに関する支援と推進を目的に相談所を立ち上げる。		
成果	1、地元の大学生9人が参加し、102冊のCSRレポート調査を行った。 2、企業向けセミナー47人、NPO向けセミナー24人が参加。企業・NPOともにCSRに関する最新情報の提供、具体的な取り組みの紹介ができた。 また、参加者を対象にした集まりを12月に開催（CSRevening）、その後関係者によるメーリングリストが誕生、不定期な集まりも実施。 3、2008年5月に設置、その後6月中に5社より相談を受けた。		
実施概要	1、CSR調査「CSR情報調査プログラム」 全国のNPO中間支援組織8団体が協力して、一部上場企業が発行している「CSR報告書」を環境、経済、社会の3つの視点から分析した調査項目に沿って、データを拾い出し、情報掲載の有無と、内容についてのコメントを記入するといふもの。当センターでは地元の大学に調査員募集の情報を提供し、9名の大学生がこのプロジェクトに参加して、夏休み期間中冊53冊、冬休み期間中49冊、合計102冊の調査を実施。 2、CSRセミナー「みやぎの企業とNPOを元気にする「CSRセミナー」 ・開催日時：2007年8月30日（木） 企業向け/13:00-16:00 NPO向け/19:00-21:00 ・会場：仙台市市民活動サポートセンター6階 セミナーホール ・企業向け「あなたの会社が地域に支持される企業になるために」 ・NPO向け「NPOにとって他人事じゃないCSR」 ・参加者数：企業向け47人、NPO向け24人 ・主催：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター ・共催：ハリウコミュニケーションズ株式会社 ・協力：CANPAN（日本財団公益コミュニティサイト）、サポート資源提供システム運営委員会、ダイバーシティ研究所、おかきプラス、志賀理恵 企業向けとNPO向けという形で開催。企業向けのセミナーでは、この年初めて開催されたCANPAN・CSRプラス大賞への地方枠として当センターが推薦する3社（イトース株式会社・奥田建設株式会社・株式会社プラスヴォイス）をプレゼンターに招いて実施。 また、NPO向けのセミナーではISO26000に関する最新情報と企業のCSRの取り組みをNPOがどのように活用できるかについてパネルディスカッションを行なった。 3、CSR推進相談所 2007年8月のCSRセミナーをきっかけに、9月の理事会で積極的にCSRに関する情報発信を進めるという方針を決定。2008年5月にCSR推進相談所を開設。その効果があったか ・企業からの相談が増える傾向にある。  4、CSRevening 2007年8月のCSRセミナー参加者を対象に交流会を12月1日の16時より開催。その後、参加者のメーリングを開設し、メーリングリスト上での情報交換や勉強会を実施。		

事業名	子どものためのNPOとの協働事業	
主催／共催	主催：特定非営利活動法人日本NPOセンター 共催：財団法人児童健全育成推進 協賛：財団法人住友生命社会福祉事業団	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	本プロジェクトでは、行政分野を超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出する。	
成果	東四郎丸児童館、通町児童館における各5回のワークショップに約15のNPO、市民団体、企業、幼稚園などを結びつけ、協働での事業展開が出来た。	
実施概要	受け入れ児童館：仙台市東四郎丸児童館 運営主体：指定管理者 NPO法人FOR YOU にこにこの家 テーマ：「手をつなごう あなたとわたし」 五感で感じることの大切さを学ぼう・・・文化の風を地域に・・・ <プロジェクトⅠ> プログラム：星空コンサート ～かに公園で中国楽器・二胡の演奏～ 協力NPO：仙台二胡の会（任意団体） 開催日時：9月29日（土）18：00～18：40 テーマ：聴く・・・心の豊かさを！ <プロジェクトⅡ> プログラム：ピカソもびっくり！みんなでアート！ ～完成後に児童館の公園側の敷地にオブジェとして設置～ 協力NPO：NPO法人ふれあいサポート館アトリエ 開催日時：10月9日（火）10：00～15：00 テーマ：描く・・・心のコミュニケーション <プロジェクトⅢ> プログラム：名取川探検 ～きれいな河川敷にしたいな～ 調査とゴミ拾いと異世代間交流 協力NPO：NPO法人広瀬川の清流を守る会 開催日時：10月20日（土）9：00～13：00 テーマ：見る・・・自然を大切にしよう 食べる・・・親子で芋煮をつくろう <プロジェクトⅣ> プログラム：東中田ウォークラリー ～わたしたちの街を知ろう～ 協力NPO：NPO法人都市デザインワークス 開催日時：11月17日（土）10：00～12：00 テーマ：地域を知る・・・地域で守る、地域の中へ 職場訪問・・・自立への一歩として <プロジェクトⅤ> まとめ プログラム：振り返りとまとめの会 協力NPO：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター 開催日時：12月25日（火）13：00～15：00 テーマ：次の活動に向けて	

実施概要	受け入れ児童館：仙台市通町児童館 運営主体：指定管理者 NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘 テーマ：宮城の米にこだわった食育の展開 ■第1回：竹筒でお米を炊こう 環境系NPOと連携し、竹を切り出し、竹筒をつくり、でお米を炊いて食べます。おかずは、仙台芋煮汁です。使用後の竹は、竹炭としてリサイクルし、最終回の参加者のおみやげにします。 開催日：9月29日 メニュー：ご飯(竹筒炊き)、芋煮汁、梅干し 協力NPO：NPO法人宮城県森林インストラクター協会(予定) 調理担当 賢和会ひろせグループ 食材提供 お米 NPO法人環境保全米ネットワーク 野菜 朝市夕市ネットワーク 協力団体：みどりの森幼稚園(調理室等の会場提供)、柏木の満勝寺(竹林提供) ■第2回：食へのマナー・精進料理に触れる 昔ながらの食事のマナーを修得するため、近隣のお寺の住職から精進の心得を聴きます。その間にNPOが調理を担当し、一緒に一汁一菜の精進料理を味わいます。さらに、第3回で使う切り干し大根を作ります。 開催日：10月13日 メニュー：お粥、汁物、沢庵漬け 協力NPO：調理担当 仙台男子厨房に入ろう会 食材提供 お米 NPO法人環境保全米ネットワーク 野菜 朝市夕市ネットワーク 協力団体：みどりの森幼稚園(調理室等の会場提供)、小野田町生来院の小野崎住職 ■第3回：宮城の郷土料理を食べよう 宮城の秋の郷土料理を味わいましょう。おにぎりの話を聞き、自分たちでつくってみよう。頭の付いた魚の正しい食べ方を勉強しましょう。さらに、第5回で使う干し柿づくりもしましょう。 メニュー：おにぎり、サンマの塩焼き、切り干し大根、キノコ汁 開催日：11月10日 協力NPO：スローフード宮城 調理担当 賢和会ひろせグループ 食材提供 お米 NPO法人環境保全米ネットワーク 野菜 朝市夕市ネットワーク 協力団体：みどりの森幼稚園(調理室等の会場提供)、新坂町の永昌寺(柿の実提供) ■第4回：新米の食べくらべをしましょう ササニシキ、ひとめぼれは有名ですが、お米には様々な種類があります。新米の季節です。様々な種類のお米の食べくらべをしてみましょう。 メニュー：ご飯を10種類、漬け物 開催日：12月8日 協力NPO：NPO法人環境保全米ネットワーク 調理担当 なし 食材提供 お米 NPO法人環境保全米ネットワーク 野菜 朝市夕市ネットワーク 協力団体：みどりの森幼稚園(調理室等の会場提供)、日立製作所東北支社(電気炊飯器10台提供) ■第5回：まとめの会 4回のおさらいです。おやつに第3回でつくった干し柿で郷土食の「柿のり」をつくります。 メニュー：柿のり(おやつ) 開催日：1月19日 協力NPO：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター 協力団体：みどりの森幼稚園(調理室等の会場提供)
------	---

事業名	せんだいCARES2007	
主催	せんだいCARES2007実行委員会	
共催	せんだい・みやぎNPOセンター(& 仙台市)	
目的	せんだいCARES2007は、2003年よりまちづくりキャンペーンとして毎年11月の約1ヶ月間開催している。仙台市内で活動しているNPOの活動を「仙台のお世話をしている(CAREをしている)」と考え、NPOと一緒に企業市民や一般市民を巻き込んで一緒にCAREしましょうというまちづくり企画。	
成果	1、参加NPO数は40 団体、協賛企業は41社、広報協力14団体・企業、パンフレット25,000部と広範な広報展開ができた。 2、資金調達面では、「ドネーションチケット」に加えて、七夕期間中に行なったシャッター代行サービスにより10万円近くの寄付金を集め、100%の自己資金調達率となった。 3、昨年に引き続き、大学生が参加NPO8団体の活動のお手伝いをする「CARES・ケアーズ」を	
実施概要	・期 間:2007年10月27日(土)～12月1日(日) ・参加NPO:40 団体、イベント・講座数:31 ・主 催:せんだいCARES2007 実行委員会 ・共 催:特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター、仙台市 ・協賛企業:41社 ・広報協力:14 団体・企業 ・後 援:24 団体・企業 ・協 力:23 団体・企業 ・実行委員:26 名 ・事業費:1,453,267 円 イベント名:杜の都のごみゼロ作戦 日 時:2007年10月27日(土) 10:00～12:00 場 所:市民広場東・グリーンハウス勾当台前 対 象:まち美化活動に関心のある仙台市民や企業・NPO 成 果:大雨で中止。当日は100名近い参加者があり、記念品をお渡しして解散。 イベント名:いきいきNPOWeek 日 時:2007年11月13日(火)～18日 10:00～18:00 場 所:東北電力ビルグリーンプラザ・アクアホール 対 象:仙台市民(NPOの活動やボランティアに関心のある方など) 参加者数:3654人 成 果:市内で活動する14のNPOと企業の社会貢献活動について4社が報告・展示を行ない、仙台市リサイクル推進課も参加。3つのセクターと一緒に集う場となった。 イベント名:まるごとサポセン、まる一日せんだいCARES 日 時:2007年11月26日(日) 12:00～16:00 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 対 象:仙台市民(NPOの活動やボランティアに関心のある方など) 参加者数:参加NPO:12団体 成 果:サポセンをまるごと使ってNPOの活動紹介とイベントを開催。 フェアトレードに取り組むNPOと一緒に「NPOcafe」や、「ボランティアサロン」やコンサートなども開催。 イベント名:CARES(ケアーズ)・ケアーズ 日 時:2006年10月28日(土)～12月3日(日) 場 所:参加NPO7団体の活動拠点・イベント会場など 対 象:高校生・大学生 参加者数:17名 成 果:2～3名一組でNPOの活動現場に出かけて活動し、その後報告会を開催。NPOの活動体験から社会の問題について新たな気づきを得ることができたようだ。 イベント名:七夕チャリティ<写真撮影代行サービス>ケアーズ・ケアーズ 日 時:2007年8月6日(月)～8月8日(水) 場 所:一番町・DATE ONEビル前 対 象:七夕観光客 ボランティア数:のべ28名 成 果:3日間で95,567円の寄付を集めることができた。	

事業名	アダプト・プログラムシンポジウムin仙台
主催／委託者	社団法人食品容器環境美化協会
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	食品容器環境美化協会が進める「アダプト・プログラム」の普及・啓発のため、地方においてシンポジウムを開催し、地域自治体や企業、環境団体などに情報とノウハウの提供を行うことを、宮城県内において初めて実施した。
成果	各地から100人弱の参加者を得、豊富な情報量で、適切な情報提供を行うことができた。特に、宮城県内外の10数自治体の参加があり、施策への反映も期待できる。
実施概要	開催実施日：2008年2月25日(火) 13:30～16:30 会場：ハーネル仙台 松島の間 後援：宮城県、仙台市 内容： 開会挨拶：川上博志 社団法人食品容器環境美化協会 専務理事 基調講演：アダプトはまちづくりのエース！ ～アダプト・プログラムに学ぶ、市民協働の可能性～ 講師：加藤哲夫 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 アダプト・プログラムの全国概況 アダプト・プログラム－発祥の地アメリカから日本へ－ 谷津直生 社団法人食品容器環境美化協会 審議役 アダプト・プログラム先進事例紹介 1) 北海道室蘭市 室蘭市まち「ピカ」パートナー事業 谷津直生 社団法人食品容器環境美化協会 審議役 2) 宮城県仙台市 まち美化サポートプログラム 遠藤幸寿 仙台市環境局 廃棄物管理課 3) 宮城県 みやぎスマイル・リバープログラム 丹波雅彦 サッポロビール株式会社 仙台工場 総務部長 4) 発表者とのフリーディスカッション コメンテーター：加藤哲夫 報告書作成：後日、106ページの報告書を作成、参加者、県内自治体などに配布した。



事業名	コミュニティ自立研究会への参加他
主催／委託者	財団法人 東北開発研究センター
企画・実施	財団法人 東北開発研究センター
目的	コミュニティの自立支援をテーマに、東北開発研究センターさんの自主研究事業に参画させていただき、その成果を地域に発信する。
成果	ここ数年、東北開発研究センターの自主研究事業に委員として、加藤代表理事、山田理事が参加、コミュニティ自立支援に関わる調査研究提言などを進めてきた。2007年度は、(株)ぎょうせいから『コミュニティの支援戦略』を上梓、10／23には、コミュニティ自立シンポジウムを開催した。
実施概要	コミュニティ自立研究会 委員長 山田晴義 宮城大学副学長 委員 加藤哲夫 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 櫻井常矢 高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科准教授 鈴木孝男 宮城大学事業構想学部助教 事務局 財団法人 東北開発研究センター 継続的な研究会の開催とフィールドワーク、それにシンポジウムの開催などを年間を通して実施。 2007年末には、実際に研究会メンバーがコミュニティ政策の支援に入る自治体を公募し、岩手県住田町が選考され、2008年度には、住田町プロジェクトが動き出している。 2008年度に展開される住田町プロジェクト概要 五葉地区および下有住地区の住民による地域づくりのワークショップ 住田町地域づくり塾 職員および町議会議員への研修 センターとしては、これらの研究および支援実践のノウハウを、他地域、他自治体への支援として提供していく。



事業名	Microsoft NPO Day
主催／委託者	マイクロソフト株式会社
企画・実施	特定非営利活動法人日本NPOセンター 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	NPOが、より効果的・効率的な活動を進めていくためには、ITの上手な活用が不可欠である。しかし、NPOの多くは未だ活動にITを活用しきれていないといえない。そこで、NPOがIT活用の可能性を感じ、具体的に活用できるようになることを目指したセミナーを実施する。 また、本イベントを期に、地域のNPO支援センターを通して、日常的にNPOがIT活用を始めとした活動についてのアドバイスを受けられる環境がより充実することを目指す。
成果	定員を超える参加申込があり、当日も定員いっぱいの40名の参加があった。 参加者の感想も概ね好評で、セミナー1の情報発信、セミナー2の共同作業とも、セミナーで紹介されたことを実際に試してみたいとの声があった。 また、地域版NPO Dayの打合せや準備・開催を通じ、各地の市民活動支援団体やマイクロソフト社とつながりを持つことができた。
実施概要	「Microsoft NPO Day」は、マイクロソフト社が企業市民活動の一環として世界各地で実施している、情報技術 (IT) を活用したNPOの基盤強化支援のためのイベントである。 日本においては、2006年に東京、大阪、福岡で、2007年に東京、札幌、名古屋で開催され、2008年は地域におけるNPOへのIT活用支援の環境をより充実させる機会とするため、地域版NPO Dayが企画された。地域版NPO Dayは全国7都市で開催され、仙台のNPO Dayもその一環として行われた。 開催日時:2008年6月6日(金) 13:00～17:00 会場:マイクロソフト東北支店セミナールーム 参加者:40名 参加対象:NPO関係者、NPO支援センター関係者、行政のNPO担当者、企業の社会貢献担当者など 参加費:無料 [内容] オープニング『ITで広げるNPOの可能性』 セミナー1『インターネットを活用して、活動情報をもっと伝えよう』 講師: 会田 和弘 氏 (特定非営利活動法人 イーパーツ 常務理事) 加藤 哲夫 氏 (特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター) セミナー2『ITを活用して、共同作業を広げよう』 事例報告者: 佐藤 和文 氏 (河北新報社メディア局長) 会田 和弘 氏 (特定非営利活動法人 イーパーツ 常務理事) 吉田 建治 氏 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター企画スタッフ) 全体セッション『マイクロソフトからのプレゼンテーション』



事業名	NPO推進機関との連携
主催／委託者	NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会 社会的責任向上のためのNPONGOネットワーク
実施概要	<u>NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会</u> 2007年度世話団体 ・特定非営利活動法人 NPO事業サポートセンター ・社会福祉法人 大阪ボランティア協会 ・特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター ・特定非営利活動法人 こどもNPO・子ども劇場全国センター ・シーズ＝市民活動を支える制度を作る会 ・特定非営利活動法人 日本NPOセンター 2007年度地域幹事団体 ・特定非営利活動法人 NPO推進北海道会議 ・特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター ・特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター ・特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター ・特定非営利活動法人 NPOくまもと 当センターとしては、以下の会議に参加した。 ■2008年4月18日（金）「NPO議員連盟」拡大世話人会 ■2008年4月18日（金）「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」拡大世話団体会 ■2008年5月28日（水）「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」総会 ・時 間 ：13時30分～16時00分 ・会 場 ：新東京コンファレンスコーナーA会議室（東京都千代田区） ・参加者 ：19団体 委任状出席：14団体 (1) 第1号議案 2007年度の活動報告について (2) 第2号議案 2007年度の会計報告について (3) 第3号議案 2008年度の活動計画について (4) 第4号議案 2008年度の予算について (5) 第5号議案 世話団体ならびに地域幹事団体の選任について 新たに「チャイルドライン支援センター」が世話団体となった。 (6) 第6号議案 その他 <u>社会的責任向上のためのNPO／NGOネットワーク</u> ■2008年5月1日（仮称）NPO／NGO社会的責任向上ネットワーク 設立総会 参加者：36名、議決権は15団体

IV. 委託事業

事業名	仙台市市民活動サポートセンター管理・運営
設置者	仙台市(企画市民局地域活動推進課)
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
目的	多様な市民活動がさらに活発になるように支援を行うとともに、市民・企業・行政の協議のまちづくりを推進していくことを目的とし、仙台市により設置されている。 当センターは、中間支援センターとしての実績を活かし、仙台市の市民公益活動の促進、市民参加と協業を推進するため、1999年6月からの受託期間を経て2004年4月から指定管理者として管理・運営を受託している。
成果	平成19年度は、移転後、初の通年での運営を行った1年だった。サポートセンターの5つの機能別の成果は以下のとおりである。 1. 場の提供 平成19年度の利用者件数は18,450件、利用者総数は57,943名だった。移転前の平成17年度と比較しても、利用者件数102%、利用者総数141%とそれぞれ伸びている。 オープンから1年半が経過した「市民活動シアター」に関しては32%の使用率にとどまったが、シアター活性化のための取り組みを新たに展開した。(詳細は、実施概要のとおり) また、施設利用者の利便向上にむけては、1階入口から受付カウンター、情報サロンのレイアウト変更を行うとともに館内表示の充実と見直しを図った。これにより、サポートセンターで提供しているサービス内容を、より明確に来館者に伝えることができた。 2. 情報収集・提供 情報サロンのレイアウト変更を行い、より情報収集しやすい環境づくりを行った。 また、企業が発行している「CSRレポート」の配架を開始し(約200社)、事業とも連携しながら、企業の社会貢献活動の支援に向けて、新たな取り組みを開始した。 3. 市民・企業・行政の連携及び交流の推進 以下の3つの新規事業を通して、各セクターをつなぐための情報提供や場づくりができた。 ○出前サポセン(誘導・啓発事業) ○せんだいCARESとの連携(ネットワーク推進事業) ○企業サロンの開催(ネットワーク推進事業) 4. 市民活動に係る人材育成 平成16年にスタートした「NPOいろは塾」は引き続き好評でサポートセンターの看板講座となり、NPOについての初歩的な情報を提供するとともに、サポートセンターの機能を紹介し、その後の利用につなぐ大きな機会となった。 また、既に活動している団体の方を対象とした講座では、ワークショップ形式を採用し、より実践的な講座づくりに務め、参加者の評価が高かった。 6. 市民活動に関する相談 窓口における相談と並行して、相談者の属性や目的別に以下の相談事業を実施した。平成18年度より開始しているインキュベート相談では、より具体的で継続的な支援を行うことが出来た。 ○事務用ブース入居団体 → インキュベート相談会 ○NPOと行政の協働相談 → こらぼん協働相談所 ○ボランティア相談 → ボランティア大相談会

実施概要

平成 19 年度は、以下の 2 つの新規事業に取り組んだ。

○市民公益活動への誘導啓発事業としての「出前サポセン」

仙台市内の 5 つの区の各 1 つの市民センターにサポートセンターの基本機能を持ち込み、NPO いろは塾の開催により、サポートセンターや市民活動への理解を形成することを目的として開催した。

○市民活動シアターの活性化にむけた事業

シアターの PR を目的に、文化・芸術分野において仙台で活躍する 4 名をゲストディレクターとして招き、11 月から 2 月まで毎月 1 回タイアップ企画を実施した。また、その経験を踏まえ、公募企画事業の仕組みづくりを行った。これは、市民活動シアターの利用の促進とその可能性を探るため、多くの団体から企画を募集し、多様な形態での市民活動シアターの活用策を探るための事業である。今年度は、企画内容を通じて 8 つの実施団体の選考を行い、平成 20 年度の 8 月から 2 月の期間に市民活動シアターを利用して演劇やワークショップ、イベントなど、これまでにない挑戦的な企画が実施される。

主な実施概要

1. 場の提供
2. 情報の収集・提供
3. 市民活動に関する相談（窓口での一般相談、協働相談、インキュベート相談）
4. 人材育成事業（NPO いろは塾、課題解決別テーマ別講座）
5. 誘導・啓発事業（出前サポセン、ボランティア相談会）
6. ネットワーク推進事業（協働ナビゲーションフォーラム、CSR サロン）
7. シアター関連事業（シアター PR のためのタイアップ企画、平成 20 年度実施企画の公募・選考）
8. 施設管理
9. 視察・見学受入
10. ボランティア・中学生の社会体験活動受入

▼出前サポセン



▼シアター PR のためのタイアップ企画



事業名	仙台市シニア活動支援センター管理・運営	
委託者	仙台市(企画市民局地域政策部地域活動推進課)	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	シニア活動支援センターは、50歳代後半、定年退職前後の団塊・シニア世代のセカンドライフの支援を行うことを目的に仙台市が設置、2007年7月1日オープンした。当センターの情報や人脈を大いに活用しながら、施設の管理運営を実施している。	
成果	○事業全体の運営を通して、団塊世代を中心としたシニア世代の現状とニーズの認識がより深まり、強化すべき支援メニューが明らかになった。 ○継続的な相談対応により、具体的な活動へのマッチング事例が生まれた。 ○連携する推進協議会や市民活動団体との協力体制を強化することができた。	
実施概要	■オープニング記念事業 2007年7月1日(日) 10:00～12:00 □開所式 □オープン記念講演「定年後のセカンドライフを楽しむ」 講師：仙台発大人の情報誌「りらく」編集長 浅井宣夫さん 参加者数：一般参加者42名、関係者38名、計80名 ■シニア活動の相談(すべて無料です。) ①一般相談(相談者件数 365件) シニア活動に関する幅広い相談を、窓口または電話でセンタースタッフが対応。 ②総合相談(要予約、2008年4月より相談者件数 5件) テーマを定めず、セカンドライフの相談に専門相談員が幅広く対応。毎月第4木曜日実施。 ③専門相談(要予約、2008年4月より毎月第2土曜日のみ、相談者件数 63件) 地域活動や市民活動、起業などに関する相談や、定年退職後のライフデザインづくりに関する相談など、毎回さまざまなテーマで専門相談員が対応。 ▼専門相談テーマ □7月14日(土) NPOって何? / 7月26日(木) イベントボランティアしてみませんか? □8月11日(土) 市民活動って何? / 8月23日(木) 地域での市民活動に参加しませんか? □9月8日(土) 地元学に参加しませんか? / 9月27日(木) 環境系NPOを紹介します。 □10月13日(土) 町内会デビューを応援します。 / 10月25日(木) シニアの起業を支援します。 □11月10日(土) 福祉系NPOを紹介します。 / 11月22日(木) 農のある暮らし応援します。 □12月 8日(土) IJUターン・移住を支援します。 / 12月27日(木) コミュニティビジネスを起こしませんか? □1月 12日(土) 子育て支援系NPOを紹介します。 1月24日(木) 定年退職後のライフデザインづくりを応援します。 □2月 9日(土) セカンドライフにボランティアを / 2月28日(木) さまざまな情報発信を支援します。 □3月 8日(土) まちづくり系NPOを紹介します。 3月27日(木) 仕事上の技をセカンドライフで生かしませんか? □4月12日(土) 始めませんか? 自然とふれあいながらできる活動! □5月10日(土) シーズン到来! 健康づくりで仲間づくり □6月14日(土) 読んだり書いたり聞かせたり あなたを活かせる活動してみませんか? ■シニア情報の収集・提供 センターの情報・交流スペースでは、市民活動団体の活動事例や、タイムリーな地域のイベント情報、定年退職後のライフデザインに必要な情報、起業関連情報などを提供。また、センターだより「まだ＊これ」を 隔月発行、仙台市と連携しホームページの整備を行った。 ■シニアサロンの開催(2007年7月～2008年4月まで:参加者計160名 有料) 市民活動や起業、地域活動などに必要なことを学び、体験し、交流できるサロンを実施した。 ▼シニアサロンテーマ □7月23日(月) 町内会活動の達人に話を聞こう	

- ☐ 1月28日(月) 「新春 脳トレーニング」～あなたの脳、元気ですか?～
- ☐ 2月25日(月) 「NPOのいろいろ電話相談」～相談員をめざしてみませんか?～
- ☐ 3月17日(月) 定年退職後の居場所づくり～引きこもる前に居場所を探そう!～
- ☐ 4月21日(火) 市民が支える仙台のまつり・スポーツに参加しませんか?

■シニアアクティブフォーラム2008 2008年2月9日(日) 13:30～17:30

- ☐ 講演 ☐ 団体事例発表 ☐ 交流会

参加者数:一般参加者43人、事例発表者・関係者・その他28人、計71人

■マッチング交流会 2008年6月22日(日) 13:30～16:30

- ☐ 鼎談 ☐ 団体PRタイム ☐ マッチングタイム

参加者数:一般参加者20名、事例発表者・関係者13名、計33名

■視察・見学・取材対応

2007年度(2007年7月～2008年3月)の対応実績は、60件、185名であった。

団塊世代の支援施設の先駆けとして注目され、全国からの視察依頼が多かった。

■関係機関・団体との連携

主に市内の関連機関との連携協力を強化し、団塊・シニア世代のセカンドライフ支援を多角的に行うことを目的に、17支援機関・施設、16活動実践団体とのネットワークを構築した。

専門相談、シニアサロン等の機会に協力を得て、日常的な連携を深めることができた。



事業名	多賀城市市民活動サポートセンター管理・運営	
主催／委託者	多賀城市役所	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	多賀城市における市民公益活動への支援を主たる目的とし、多賀城市におけるコミュニティの活性化も担う施設として多賀城市により設置された。当センターは、仙台市市民活動サポートセンターなどにおける市民活動支援施設で培ったノウハウを生かし、多賀城市の市民公益活動の促進、市民協働の推進のため、2008年4月より、本業務を受託した。	
成果	多賀城市との業務委託仕様書にもとづき、開設準備作業を行い、6月1日に開館記念行事を開催したところである。	
実施概要	■事業期間：2008年4月1日～6月30日 開設準備 4月1日～5月31日 開館記念行事 6月1日 施設の管理運営 6月2日～6月30日 ■業務内容 (1) 開設準備 ①職員採用及び異動、職員研修(9名体制) ②職員勤務に関する帳票、帳簿類の整備 ③施設管理システム、帳簿類の整備 ④市民提供情報の収集 ⑤開館記念行事の準備 ⑥その他 (2) 開館記念行事 ①内覧会の開催 ②オープニングセレモニー ③記念講演：『市民活動発!! ちょっと先行くコミュニティづくり』 講師 特定非営利活動法人びーのびーの 理事長 奥山千鶴子さん ④パネルディスカッション：『多賀城の未来をつくる サポセンはみんなの応援団』 パネリスト 子育て支援グランマ 代表 大澤ちか子さん 特定非営利活動法人多賀城市民スポーツクラブ スタッフ 大谷祥枝さん TAP多賀城 代表 佐藤雅博さん 多賀城市長 菊地健次郎 コメンテーター 奥山千鶴子さん コーディネーター 加藤哲夫 (3) 施設の管理運営 ■今年度の事業予定 (1) 人材育成事業 NPOいちから塾(7回開催) NPO立ち上げ相談(随時) 事務用ブースインキュベート相談(2回開催) NPOマネジメント講座(2回開催) (2) ネットワーク形成事業 パートナシップフォーラム(1回開催) (3) 誘導・啓発事業 出前サポートセンター事業(6回開催) ボランティア相談会(1回開催) (4) 調査・研究事業 市民活動調査	



丘の上にあります。
多賀城市市民活動サポートセンター

■多賀城市サポセン
パンフレット



■多賀城市サポセン
パンフレット

事業名	名取市市民活動支援センター業務	
主催／委託者	名取市（総務部男女共同・市民参画推進室）	
企画・実施	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	名取市市民活動支援センターは、平成18年8月から、公益的な活動をしている団体や個人、これから活動をしようとする人たちのため拠点施設として、名取市が設置運営している。当センターからは、定期的に毎週相談員を配置し、各種相談に対応しながら、施設の周知や利用の活性化に関するアドバイスをを行い、名取市または周辺地域で活動する団体や個人を支援することを目的とする。	
成果	1. 名取市内で活動している団体が支援センターの機能を活用し、定期的に利用するようになった。 相談日も利用しながら活動の幅を広げている事例ができた。 2. 年4回の講座を通し、団体同士の交流が行われた。それと同時に地域周辺の市民の参加があり、団体の活動状況を理解しあえる場作りができた。 3. 個別相談では、団体の運営や方向性の相談や立ち上げ期の支援などができた。	
実施概要	1. 相談員派遣業務 平成18年度8月から毎週土曜日、支援センターに相談員を1名配置し、相談対応を実施。 相談件数：24件（2007.6～2008.5月現在） 2. 講座等開催業務 ■19年度 ①NPO寺子屋2007「名取に暮らしている私たちがどんどん元気になる市民活動術」 第1回 はじめよう、つづけよう！活動おこしのコツ 6月23日（土）13：30～16：00 参加者：20名 講師：加藤哲夫 ②市民活力フェスタ in 名取 式典、団体活動紹介、ボランティア相談会、交流カフェ等 8月5日（日）12：00～15：30 参加者：100名 ③NPO寺子屋2007「名取に暮らしている私たちがどんどん元気になる市民活動術」 第2回 ひろげよう、伝えよう！仲間づくりのコツ 講師：加藤哲夫 11月17日（土）13：30～16：30 参加者19名 ④愛の市民活動ぐるぐる交流会 座学「伝わる！情報発信のコツ」（講師：加藤哲夫）＋交流会 2008年2月23日（土）13：30～16：00 参加者20名	

事業名	まち美化に関する市民活動のための支援事業業務	
委託者	仙台市環境局廃棄物管理課	
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター	
目的	9年目を迎えた今年度は、昨年に引き続き「まち美化達人セミナー」を実施。アレマ隊活動も取り入れ、多様な事例紹介を交えるなどして、まち美化活動における実践的な内容とする。アレマ新聞の発行に際し、昨年同様に事前の編集会議を邸内に行い、読ませる紙面づくりを実現する。	
成果	まち美化達人セミナーでは、いずれも活動者の事例報告を実施した。また、各回ごとにアレマ隊・考えてみたいコースの実践、「まち美化問題解決ワーク！困りごとを解決しよう」といったグループワーク、各区ごとの情報交換会も開催し、より効果的なセミナーを提供することができた。	
実施概要	「平成19年度まち美化に関する市民活動推進のための支援事業」実施内容 1、全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーン (アレマキャンペーン)の実施 ・春:平成19年5月26日～平成19年6月17日 参加人数:4,403人 ・秋:平成19年9月22日～平成19年10月14日 参加人数:4,292人 (キャンペーンの企画・調整、報告書の作成) 2、まち美化達人セミナーの実施 ・初級編:平成19年8月1日 参加人数:17人 9月15日 参加人数:66人 ・中級編:平成19年2月2日 参加人数:70人 ・交流編:平成19年2月26日 参加人数:70人 ・会場:仙台市市民活動サポートセンター、仙台市役所上杉分庁舎 (企画・講師・コーディネート) 3、仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行 ・平成19年9月1日号・平成20年4月1日号(但し制作は20年3月) (企画・取材・原稿作成・編集・レイアウト・印刷) 4、まち美化達人養成講座・出前編 北海道芸術高等学校仙台キャンパス 平成19年8月31日	

事業名	クリーン仙台推進員平成19年度グループ学習会運営業務
主催／委託者	仙台市環境局廃棄物管理課
企画・実施	せんだい・みやぎNPOセンター
目的	地域で起こっているごみ問題について整理し、問題解決に向けた市民PRの手法などを学習することにより、クリーン仙台推進員のスキルアップを図るとともに、推進員間のネットワーク形成を目指す。
成果	(1) 研修プログラムを初級編の2コースとした結果、参加者増になった。 (2) 参加市民の表現力、広報力、問題解決力は確実に増進している。 (3) 環境事業所職員の研修にも引き続き貢献した。 (4) 引き続きクリーンメイト制度の導入の成果が上がっている。 (5) 「仙台メビウス通信」の活用が機能した。
実施概要	本年度のクリーン仙台推進員グループ学習会は、以下の日程と参加者で、初級編3回をAとB、両コースに分けて、計6回を開催した。推進員の新規委嘱の年であったことでもあり、基本的な考え方とスキルに特化して、なるべく初参加の推進員対象に、今までのグループ学習会で蓄積した課題解決のためのアイデアや考え方を知ってもらい、行動につながるように計画した。結果、延べ参加者数で、298名の参加があった。なお、委嘱当時のクリーン仙台推進員数は、1,089人である。 ■初級編Aコース 第1回グループ学習会 日時:平成19年10月15日(月) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:55人 内容:「取り組みのための考え方を学ぼう！」 第2回グループ学習会 日時:平成19年11月9日(金) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:48人 内容:「ご近所の底力をつけよう！問題解決思考トレーニング」 第3回グループ学習会 日時:平成19年12月4日(火) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:42人 内容:「表現力を磨こう！ポスター制作実習」 ■初級編Bコース 第1回グループ学習会 日時:平成19年10月16日(火) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:59人 内容:「取り組みのための考え方を学ぼう！」 第2回グループ学習会 日時:平成19年11月13日(火) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:52人 内容:「ご近所の底力をつけよう！問題解決思考トレーニング」 第3回グループ学習会 日時:平成19年12月7日(金) 午後1時30分～3時30分 会場:仙台市役所上杉分庁舎 5階 第3会議室 参加者:42人 内容:「地域での取り組みを進めるために」

V. 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力

事業名	行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力 ： 24件
-----	-------------------------------

VI. 講師派遣・研修受け入れ等

事業名	NPO/市民活動団体向け研修・講師派遣 ： 54件
	自治体職員向け研修・講師派遣 ： 9件
	企業向け内部研修・講師派遣 ： 2件
	研究会参加 ： 1件

※上記詳細は、当センターホームページ「センター組織概要 事業報告」をご参照ください。
1件につき複数回の実施事業が含まれています。

VII. センターの運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

①第9回通常総会

日 時：2007 年 9 月 8 日（土）13:30～15:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

出席者数：出席 16 名、委任状提出 43 名、合計 59 名

（正会員 100 名につき、過半数が出席）

議 事： 第1号議案 2006 年度の事業報告および決算の承認
第2号議案 2007 年度の事業計画および予算の審議・決定
第3号議案 理事・監事の選任

記念セミナー

日 時：2007 年 9 月 8 日（土）16:00～17:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

テ ー マ：「日本の NPO の 10 年をふりかえる」

～NPO は公共サービスを担えるか～

講師：後 房雄さん

出席者数：42 名

(2) 理事会の開催

2007 年 7 月～2008 年 6 月まで 13 回開催。

○第100回理事会

日時：2007 年 7 月 20 日（水）18:30～

- ・ 2006 年度事業報告書、決算書の承認
- ・ 2007 年度事業報告書、決算書の承認
- ・ 総会について
- ・ 新規入会者承認
- ・ その他

○第101回理事会

日時：2007 年 8 月 20 日（月）19:20～21:40

- ・ 2007 年度事業計画書、予算の承認
- ・ 総会の提出議題の確認
- ・ 新規入会者承認
- ・ その他

○第102回理事会（総会直前）

日時：2007 年 9 月 8 日（土）11:35～12:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター

- ・ 新規入会者承認
- ・ 第9回通常総会議事内容と進行について
- ・ その他

○第103回理事会（理事合宿）

日時：2007 年 9 月 22 日（土）9:00～15:00

会場：岩松旅館

- ・ 中間支援組織のこれまでの 10 年と、これからの 10 年
- ・ 当センターの中間戦略について
- ・ 新規入会者承認

・その他

○第104回理事会

日時：2007年10月19日（金）18:30～20:45

- ・中期計画について
- ・10周年記念事業について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第105回理事会

日時：2007年11月20日（火）19:30～21:15

- ・中間戦略策定
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第106回理事会

日時：2007年12月20日（木）18:30～19:30

- ・中間戦略について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第107回理事会

日時：2008年1月21日（月）19:00～21:00

- ・年間スケジュールの確定について
- ・新規入会者承認
- ・理事会のあり方について
- ・その他

○第108回理事会

日時：2007年2月20日（水）18:55～21:00

- ・CANPAN 地域公益ポータルサイト
- ・通産省コミュニティビジネス支援事業について
- ・中期戦略について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第109回理事会

日時：2008年3月19日（水）19:30～21:15

- ・理事の構成について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第110回理事会

日時：2008年4月21日（月）18:55～21:00

- ・中期戦略について
- ・多賀城市市民活動サポートセンター受託について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第111回理事会

日時：2008年5月20日（火）19:00～22:00

- ・新年度に向けて
- ・2007年度決算に向けて
- ・中長期事業計画について
- ・新規入会者承認
- ・その他

○第112回理事会

日時：2008年6月20日（水）19:15～21:30

- ・決算見込みについて
- ・総会について
- ・就業規則について
- ・新規入会者承認
- ・その他

＊会場の明記がないものは、すべてせんだい・みやぎ
NPOセンターにて開催した。

(3) 評議員会の開催

○第 14 回評議員会

日 時：2007 年 10 月 2 日（火）18:30～20:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6 階セミナーホール

内 容：2006 年度事業報告と 2007 年度事業計画及び今後の展望について、意見交換

参加者：14 名、理事 3 名、事務局 3 名

○第 15 回評議員会

日 時：2008 年 4 月 25 日（金）18:30～20:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6 階セミナーホール

内 容：2007 年度事業報告、2008 年度に向けて、意見交換

参加者：11 名、理事 4 名、事務局 6 名

(4) 会員について

2007 年 7 月期：会員数 171 個人・団体

2008 年 6 月期：会員数 184 個人・団体

2007 年 7 月から 2008 年 6 月の期間において、新規入会者は、正会員 12（個人 9、NP03）、準会員 6、種別変更は、正会員から準会員への切り替え 3、準会員から正会員への切り替えが各 1 口ずつあった。

(5) 事務局について

①人員体制（2007 年 7 月 1 日～2008 年 6 月 30 日現在）

<職員>

○せんだい・みやぎNPOセンター事務局勤務（仙台市青葉区大町）

代表理事：加藤哲夫

常務理事：紅邑晶子、黒澤 学

事務局長：紅邑晶子

事務局次長：青木ユカリ（～08.6.30）

常勤職員：遊佐さゆり

非常勤職員：遠藤智栄（～08.3.20）、工藤寛之（07.12.03～08.4.30）小松敏成（～07.10.31）

田内亜紀子（07.9.3～）、谷口恵子（07.12.12～）、小川真美（08.5.1～）

○仙台市市民活動サポートセンター勤務（仙台市青葉区一番町）

センター長：黒澤 学

副センター長：小松州子、伊藤浩子（08.4.1～）

常勤職員：内川奈津子、大石俊輔（08.3.10～）、太田 貴、大西千佳（08.3.3～）、
後藤多喜美（08.5.1～）、高橋陽佑、千葉やす恵（～08.3.31）、
豊泉昭子、布田 剛（07.8.21～）本田ふみ、本間 藍（07.9.3～）
桃生和成（08.3.3～08.4.30）

非常勤職員：葛西淳子（07.9.3～08.6.20）、渋谷 丹、関口憲一（～08.4.20）、
能藤玲子（08.4.1～）、三井 克、橋本昭正（08.5.1～）

シアター業務委託スタッフ：森 忠治（07.10.22～08.3.20） 本儀 拓（07.10.22～）

○仙台市シニア活動支援センター（仙台市青葉区一番町）

センター長：真壁さおり

副センター長：小林正夫（08.4.1～）

非常勤職員：青木ユカリ（～08.6.30）、葛西淳子（08.6.21～）

○多賀城市市民活動サポートセンター勤務（08.5.1～）

センター長：工藤寛之

副センター長：中津涼子

常勤職員：伊藤浩子、須藤理江、浪腰 茂、桃生和成

非常勤職員：沼倉久子、二瓶徳子、門間光憲

<インターン・ボランティアの受け入れ>

- 関根悟史さん（個人）
- 広瀬麻美さん（宮城大学 事業構想学部2年）
- 藤井公博さん（東北大学公共政策大学院2年）
- 八巻潤平さん（宮城大学 事業構想学部2年）

②会議

<大町全体ミーティングの開催>

2007年7月～2008年6月：12回開催（月1回）

メンバー：事務局長、事務局次長、大町職員、インターン

所管事項：大町事務局全体における事業に関する事項、
大町の総務関連事項、その他

<戦略会議の開催>

2007年7月～2008年6月：10回開催（月1回、第3木曜日午後）

（2008年4月より3か月に1回）

メンバー：常務理事、事務局長、事務局次長、ＳＣ正副センター長
(必要に応じて、事業担当者から報告を求める)

SC 主任 (2008 年 4 月より)

所管事項：センターの経営戦略全体、資金、人事に関する事項、大町・
ＳＣ両業務の総括と連絡調整に関する事項、センター会議
の運営に関する事項

<センター会議の開催>

2007 年 7 月～2008 年 6 月：11 回開催 (月 1 回、最終水曜日)

参加者：センター職員全員

内 容：全体で議論しなければならないことを中心に、事業報告は
MLへ

<目標管理会議>

2007 年 7 月～2008 年 6 月：5 回開催

参加者：ＳＣ正副センター長、ＳＣ各班主任
常務理事、事務局長、事務局次長

内容：仙台市市民活動サポートセンターの事業に関する事項
(2008 年 4 月より、大町事業も含む)